

2 年 1 学期 第 4 時 コミュニケーションの基本 = 「見る」スキルを高めよう！

【本時のターゲット・スキル】

コミュニケーション力

- ・人の話をよく聴く。
- ・集団生活を送る上で必要なマナーを身につける。

【流れ】

活動の流れ（指導者の教示 & 子どもの反応・行動）	留意点
<p>ソーシャルスキル・アンケートの内容を思い出させる。</p> <p>自分自身の「配慮のスキル」と「かかわりのスキル」の 2 つの力に気づいた。2 つの力を、バランスよく持っている人もいれば、そうでない人もいる。どちらの力も弱かった人もいる。これらの力をアップさせることをねらいとして、今日は、少しゲームをしてみよう。</p> <p>ウォーミングアップ</p> <p>「まちがいさがし」</p> <p>・黒板によく似た大きな絵を 2 枚はり、8 つの「まちがい」を探索するように指示する。</p> <p>まちがいを見つけたら、プリントに印をつける。</p> <p>一見同じように見えても、よく見れば違いに気づく。見ているようで見ていないことって、もっとあるかもしれない。</p> <p>今日の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームを通じて、「集中して見る」ということを体感し、しっかり物を見るスキルアップをめざす。</li> <li>・効果的に「見る」ためのコツを見つける。</li> </ul>	<p>ヒントを出しながら、あきらめしないで、しっかりと見つめ、まちがいを見つけさせる。</p> <p>黒板にはりだしたものと同じ絵のプリントを配布する。</p> <p>見つけても、黙って待っておく。</p>
<p>「On the desk」のルール説明</p> <p>日本語で言うと、「机の上」という意味。</p> <p>品物をのせたお盆を布で隠して机の上に置く。</p> <p>布をとり、30 秒、お盆の上にのっている物を集中して見る。</p> <p>30 秒たったら、布をかぶせる。</p> <p>そのあとの質問にこたえる。</p> <p>第 1 ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教卓に品物を置き、布で覆う。</li> <li>・布を取り、30 秒ほど観察させ、また布を覆う。</li> <li>・次に質問をする。</li> </ul> <p>「何個あったか」「どんな品物があったか」</p> <p>「一番大きかった物は何か」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・答えは、プリントに記入させる。</li> <li>・布をとって、品物を見ながら答え合わせをする。</li> </ul>	<p>ルールをしっかり理解させる。</p> <p>何もアドバイスはせず、カウントダウンだけする。</p> <p>プリントを配布する。</p> <p>静かに、集中して思い出させる。</p> <p>答えを口に出さない。</p>

活動の流れ（指導者の教示＆子どもの反応・行動）	留意点
<p>記憶力や集中力は、訓練次第でアップすることを確認する。</p> <p>第2ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じように布を覆った品物を置く。</li> <li>・品物の数は、第1ゲームより多いことを予告する。</li> <li>・より集中して見ることを指示する。</li> <li>・布を取り、30秒ほど観察させ、また布を覆う。</li> <li>・質問する。</li> <li>・同じように答え合わせする。</li> </ul> <p>第1ゲームと第2ゲームの結果を比較する。</p> <p>・（第1ゲームより正答数が増えた人が多いと予想されるので）正答数が増えた理由を考えさせる。</p> <p>見て、覚えるために自分がした工夫を発表する。</p> <p>第3ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2ゲームと同じ。ただし、品物は変える。</li> </ul> <p>第2ゲームと比較する。</p> <p>（最終ゲームが一番多く覚えられたことが予想されるので）工夫をして、集中して見れば、記憶力があがることを実感させる。</p>	<p>何もアドバイスはせず、カウントダウンだけする。</p> <p>正答数が減った人には、増えた人の工夫を真似してみることを提案する。</p>
<p>感じたり、考えたりしたことをふりかえる。</p> <p>ふりかえりシートを記入する。</p> <p>全体での分かち合い</p> <p>・感想をまとめ、指導者の気づきや感想を伝える。</p> <p>授業や日常の生活で、まず集中し、工夫して「見る」ことから始めれば、コミュニケーションをとりやすくなる。話す力や聴く力を高めるためには、まず相手を「見る」ことが大切である。今日のゲームを通して、自分では見ているつもりでも、案外しっかりは見えていないことが分かった。人とコミュニケーションする時も、意外に表情や態度といった非言語コミュニケーションを見逃していることもある。今日学んだことを忘れず、相手をしっかり見つめることから、コミュニケーションをとっていくと、今まで気づかなかった相手の気持ちが分かったり、雰囲気がよくよめたりするようになる。ぜひ、日々の生活にいかしていこう。</p>	<p>静かに記入させる。</p> <p>達成感や反省点など、多様な意見や工夫をとりあげ、がんばった成果や姿勢をほめる。</p> <p>今後の生活にいかしていける力であることを理解させる。</p>